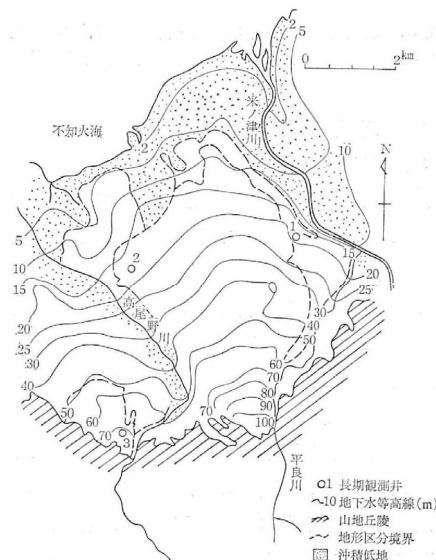


### 地形・地質

不知火海の最南端に面したこの出水平野は、南九州一帯に広く分布する始良火砕流(しらす)の北限に位置します。この平野は四万十帯を基盤とし、その陥没谷に第四紀の厚い堆積物が分布します。扇状地と沖積平野からなります。

### 地下水

地下水は、四万十累層群を不透水性基盤とし、出水層から火砕流 D までの地層に一般に被圧地下水が賦存し、段丘堆積物およびしらすに不圧地下水が賦存します。



出水平野地下水等高線図

## 出水平野の第四紀地質層序

時代	柱状図	岩 相	地 層 名	地 形	鹿児島県下	不知火海周辺
完 新 世		表土, 黒色火山灰		沖積平野	沖積面	沖積面
		砂 礫	沖積層			
		砂礫層 3 ~ 5 m	武本砂礫層	河岸段丘面		
更 新 世		赤褐色ローム 40cm	上部ローム層			
		砂礫 粘土 砂 10~20m	出水砂礫層	低位段丘面	笠野原砂礫層 (低位段丘面)	不知火砂礫層 松橋粘土層
		オレンジ色軽石層 60cm	下部ローム層			
		褐色粘土質 ローム 50cm				
		オレンジ色軽石層 シラス (白色軽石流) 10~50m	始良火砕流	中位段丘面	始良火砕流	
		赤色土 砂礫層 (くさり礫) 20m	小原砂礫層	高位段丘面		
	溶結凝灰岩	火砕流 D				
	輝石安山岩溶岩 凝灰角礫岩	矢筈岳安山岩類	山 地	肥薩火山岩類	肥薩火山岩類	
	溶結凝灰岩 間に頁岩, 礫岩 をはさむ (50~60mごと)	出水層 (火砕流C B A)	平野下にのみ 分布			
基盤		砂岩・粘板岩	四万十累層群	山 地	四万十累層群	中・古生層

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）